

学修支援部門ニューズレター

～学生から見たアカデミック・コアの利用法～

学修支援部門長の挨拶

海野年弘 TOSHIHIRO UNNO



創刊にあたって

岐阜大学では学生が能動的に学修する教育を推進しています。

学修支援部門ニューズレターは、教職員のアクティブ・ラーニングの取り組みや学生の学習活動を紹介し、本学の「教育」「学修」のさらなる促進を目的とし、発刊いたしました。創刊号では、学修支援部門の取り組み、特に図書館1階にあるアカデミック・コアでの“学び”を中心に、ご紹介していきます。

「教育推進・学生支援機構 学修支援部門」が願っていること...

平成25年12月、本学に「教育推進・学生支援機構(以下、機構)」が発足しました。機構は、入学から卒業までの一貫した教育を絶えず企画、運営、チェックする教学マネジメントシステムの司令塔であり、「学び、究め、貢献する地域に根ざした国立大学」という理念のもとに、大学教育の質の向上および社会に求められる有為な人材を養成する機能を強化する目的で設置されました。機構の中には7つの部門がありますが、その中の「学修支援部門」では、学生の皆さんが自発的(能動的)な学修者であり続けることを願い、授業時間内外における能動的な学修(Active Learning)の取り組みを応援しています。活動としては、初年次における教育内容について企画したり、Active Learningや情報メディアの効果的な活用を取り入れた授業の推進を進めています。図書館1階の「アカデミック・コア(平成27年6月開所)」は、学生の皆さんが授業時間外に協働で課題に取り組むために開設されたものであり、まさに皆さんがActive Learningを実践するための場所です。今後、学生や教員の取り組みが増えて行き、岐阜大学におけるActive Learningの輪が益々広がることを期待しています。



学生から見た アカデミック・コアの利用法

昨年度に図書館1階にあるアカデミック・コアは、オープンから1年半が経とうとしています。アカデミック・コアでその運営や学生の学修支援を行っている学生スタッフの宮島健人さん（工学研究科2年）に、アカデミック・コアの利用状況や、利用者の声をレポートしてもらいました。

アカデミック・コアとは

アカデミック・コアは、学生が授業外時間での自主的な学びを推進する目的で作られました。特徴の一つに、ソファ席や移動可能なテーブル席があり、グループで話し合いながら、気軽に自由に学習ができる空間となっています。学内施設の中で、こうした学びの場はあまりなく、連日、多くの学生が集い活発に学習している姿が印象的です。

アカデミック・コアには学習に役立つ様々な設備があります。移動可能なテーブルやホワイトボード、模造紙、付箋などが利用可能です。グループ学習室は、ディベートや面接練習、動画を観ながらの意見交換などに利用されています。プロジェクター付き可動ホワイトボードは、従来のプロジェクター機能に加え、投影された画面に専用のペンで書き込むことも可能です。また、その画面をデータとして保存する機能もあり、グループとしての意見やアイデアを多人数と共有することで、ディスカッションを通じた学びがより深いものになっています。



写真1：自由に話し合える学習空間



写真2：プロジェクター付きホワイトボードを利用したグループ学習

実際にアカデミック・コアでどのような学びがなされているのかを、写真3の教育学部英語教育講座3年生6名（A-F）にお話を聞きました。（実施日2016年8月5日）

積極的な話し合い、意見共有の場

Int: この写真（写真3）では、どんな勉強をしているところなんですか。

A: これ（写真3）は、言語学の勉強なんですよ。「英語学概論」の勉強。これは、授業でグループに分かれてプレゼンをするんですけど、英文を読んで、それをプレゼンするっていうので、その発表の準備をこのグループで集まって打ち合せてかんじてやってるんです！

B: だからプレゼンの発表練習なんだよね。

C: パワーポイントのスライド作成や発表練習をここでやってるんですよ。

A: 最初は、C君のパソコンでやってたんですけど、でも、みんなでだと、見にくいしね。みんなで話し合いながら、（スライドを）直していきななって思って。コアのこれ（プロジェクター付きホワイトボード）使おうって思って（中略）

B: 大きいスクリーンがないと2,3人だけの話し合いになっちゃうので、こういうのがあると、みんなで意見をわーっていいながらスライドが作れるので。ここはこういうほうがいいよねとか全員で確認できたんで。

上記のインタビューより、アカデミック・コアが、学生がグループで積極的に話し合い、全員で意見共有できる場として機能していることがわかります。インタビューから、プロジェクター付きホワイトボードを活用して全員の意見を反映させた発表スライドが作成できたそうです。

アカデミック・コアのオープン前後での学習活動の変化

アカデミック・コアがオープンする前は授業外にグループで学習する場が少なく、その場所を探すだけでも、とても苦勞したそうです。図書館では、十分なスペースもなく、課題作成のためのディスカッションや英語での発表練習には、広くて話しやすい雰囲気やグループ学習室があるアカデミック・コアが最適で、ほぼ毎日のように利用しているそうです。

A: 学科ごとに、一応、控室っていうのがあるんですけど。

B: 英語科の控室は、先輩方が論文書いてたりして、4年生が使うみたいな感じなので。

C: 1, 2年生の頃は、僕たちはあんまり使えなくて、勉強できる場所がなかったんで。

D: そういったときに、コアがオープンして、見た目もおしゃれな感じだったので、ちょっと試してみようぜ、みたいな。

C: 図書館よりも、みんなが自由に話せたりして、ディスカッションがしやすい雰囲気だったので。



写真3：専門科目でプレゼンテーションを行うための準備風景

利用者インタビュー

A: ここができる前は、だから図書館のラーニングコモンズで勉強かな。でも、こっちのほうが広いし。

C: シャベリやすいし。

B: 音楽、BGMとかもね。こっちは流れてるし。

D: あと、図書館って入るのが敷居が高いっていうか、学生証で入るってのも物理的距離っていうか、コアは使いやすさっていうか、入りやすいっていうか、雰囲気的にも。

E: あと、グループ学習室をめっちゃ使いますね。発表練習で、閉鎖された空間のほうがいいが、英語で練習だしね。恥ずかしいし。広いところでやるのは。

学習に対する意識

アカデミック・コアのオープンにより、授業外時間にグループで学習する機会が増えてきているそうです。そこでの学習を通して、学習に対する意識も変わり、「みんなで協働学習すること」に楽しさを覚え、学習意欲が上がってきていると実感している声もありました。

F: 1年生のときは、自宅ととか、ファミレスとかで一人で勉強なんですけど。すぐ寝ちゃったりして、コアができて、みんなで勉強するっていうのがすごい増えました。みんなで協力する、絆がすごい深まった気がします。それまではあまり集

まっていなかったような感じなんで。あと、こういう場所があるので、勉強する時間も増えていると思います。僕って、けっこうちゃらんぼらんぼらなほうで、1,2年の頃は、自分からはあんまりやんなかったんですけど、3年生になって、こういったところでグループでやるっていうのが増えて、みんなで学習するっていうのが好きになって、意欲っていうのは上がってきていると思います。みんなで勉強するっていうのが楽しいですね。

まとめ

今回の学生からは、アカデミック・コアは「気軽に入りやすい雰囲気」「広くて自由にディスカッションできる場」「全員参加の学習が可能になる空間」といった意見が多くあり、授業外時間にグループで意見共有しながら学習できる場として利用されていました。特に、移動可能なテーブルやプロジェクター付きホワイトボード、モニターなどの設備といったハード面、学生スタッフやコアスタッフの学習サポートといったソフト面がうまく機能しており、アカデミック・コアでの学習経験が、学生のグループで自主的に学習する姿勢や学びの楽しさを実感させるきっかけになっていました。今後は、より多くの岐大生にアカデミック・コアを知ってもらい、アクティブ・ラーニングがより推進されることを期待したいです。



アカデミック・コア学生スタッフの活動

アカデミック・コアには、学生の学習支援やコア運営を行う学生スタッフがいます。主な活動として、学習相談や学習イベントの企画・運営があります。学習相談では全共授業や、レポートの議論の展開といった書き方に関する質問など受け付けました。イベントは月に2回程度開催し、今までに「レポートの書き方講座」、「プログラミング概論」、「TOEIC講座」など多様な分野にわたり計15回行いました。こうした学生スタッフの活動を通して、学生に学習のきっかけ作りに貢献出来たと思います。

能動的な学修活動を支える 岐阜大学の3つの場

アカデミック・コア

場 所 図書館1階
利用時間 平日 10:00~19:30
定 員 110人
備 品 大型ホワイトボード
大型スクリーン
プロジェクタ
可動式テーブルと椅子
連絡先 アカデミック・コア
(内線 9507, 2352)



アクティブ・ラーニング教室

場 所 全学共通教育棟F棟1階 旧1A・1B
利用時間 平日 8:45~18:00
定 員 72人
備 品 壁面大型ホワイトボード (2面)
可動式ホワイトボード4台
プロジェクタ
可動式机と椅子
連絡先 全学共通教育事務室
(内線 2168, 9017)



メディア・commons

場 所 総合情報メディアセンターA館1階
利用時間 平日 8:30~20:00
定 員 32人
備 品 コンピュータ32台
プリンタ2台
連絡先 総合情報メディアセンター事務室
(内線 2039)



発行 2016年10月1日
作成 学修支援部門 広報チーム (今福, 今井, 近藤, 清水, 高橋(周), 高橋(由), 松原, 山口)
協力 宮島健人 (工学研究科2年), 佐藤葵 (工学部4年)
問い合わせ先 全学共通事務室学修指導係 堀 (内線 2167)